



～ミタクリ通信～ 創刊号

2008年1月5日

発行所：三谷ファミリークリニック

発行人 / 巽欣子・三谷和男

〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁354-1

電話 072-260-1601 FAX072-260-1603

はじめまして 三谷ファミリークリニックです



2007年11月1日、私たちのクリニックが堺市西区鳳（鳳本通り商店街の中）に産声を上げました。身近な医療相談から、高度な先進医療に至るまで、広く患者さんに利用していただけるクリニックを目指しています。目線は、地域のかかりつけ医＝家庭医です。「ファミリークリニック」という名まえは、「家庭医」を意識して名づけました。では、家庭医とはこういった役割を担うのでしょうか。難しくいえば「社会の健康問題を老若男女、性別、臓器別を問わず予防・診断・治療・リハビリにわたるまで、さらには心理・社会・倫理的な側面まで配慮しながら健康問題の身近な相談役となれる医師」、簡単に言えば「どんな健康問題にも相談にのれるかかりつけ医」です。

クリニックで治療困難となればスムーズな病診連携（入院のできる総合病院と私たちのクリニックとの連携）で専門医療機関へ紹介するのも重要な役目と考えています。治療が終わり、退院することになって通院困難となれば定期往診させていただき、介護スタッフとも緊密な連携のもとに安心して在宅療養ができるように進めてまいります。

【今できること これからやろうとしていること】

（いまできること）

最新の血液検査機器による各種迅速血液検査（血糖、HbA1c（ヘモグロビン A1c）は1滴の血液で判定でき、肝機能や腎機能、皆さんの関心の高い、コレステロールや中性脂肪、またリウマチ因子も30分程度で結果が出るようにしました。糖尿病の方はもちろん、慢性肝炎や腎疾患、高脂血症や関節リウマチの患者様にもお役に立てることがあります。）

超音波エコー（腹部および頸動脈エコー：動脈硬化の評価が可能です）

レントゲン・心電図とPWV（動脈硬化の評価・血管年齢）・肺活量の測定（スパイロ）

検査結果は、即日お知らせすることが出来、検査結果に基づいた診療を進めることが可能です。

（これから）

病診連携（クリニックと総合病院との協力）がスムーズにいくようにマイカルテを作成します

禁煙指導の保険適用を申請します

皆さまの健康を守るために検査の年間計画表を作成します

在宅医療に力を入れます

まだまだ整備不十分な面も多くありますが 精一杯がんばりたいと思います

【診察医紹介】経歴・写真・ひとこと

院長 三谷和男 (みたに かずお)

昭和58年 鳥取大学医学部 卒業
 平成3年 医学博士号 取得
 平成4年 木津川厚生会加賀屋病院 勤務
 平成15年 京都府立医大東洋医学講座助教授
 平成19年 三谷ファミリークリニックを開設

日本東洋医学会専門医・指導医

日本医師会認定産業医

【所属学会】

日本内科学会、日本家庭医療学会、日本東洋医学会、和漢薬学会、日本女性心身医学会、日本抗加齢医学会、日本予防医学会、日本緩和医療学会、日本アーユルヴェーダ学会

副院長 巽 欣子 (たつみ よしこ)

平成7年 奈良県立医科大学 卒業
 平成7年 同仁会耳原総合病院 勤務
 平成10年 同仁会耳原鳳病院内科 勤務
 平成15年 加賀屋病院にて三谷に漢方を師事
 平成19年 三谷ファミリークリニックを開設

日本プライマリケア学会認定医

【所属学会】

日本内科学会、日本糖尿病学会、日本家庭医療学会、日本東洋医学会、日本プライマリケア学会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本アーユルヴェーダ学会



【診療担当医よりひとこと】

地元・耳原鳳病院で糖尿病を中心とした慢性疾患管理と往診を担い、地域に根ざした医療を進めてきた内科の巽欣子と漢方の専門医として診療にあたってきた三谷和男が、西洋医学と東洋医学双方の利点を活かして、皆さんの健康を守ろうと日々務めています。「診察室は希望を語る場所」私たちは、患者さんの希望を引き出すことが大切と考えていますので、診察室は笑い声が絶えません。どうぞよろしくおねがいします。

【外来担当医一覧 2008年1月現在】

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽	三谷	巽 三谷	巽	巽	三谷 (巽)
午後 (14:00-16:00)	巽 (予約)		巽 (予約)		巽 (予約)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	

予約電話番号：072-260-1601

【最後に・・・】

来月号から、四季の養生のお話や鳳の町紹介をしていきたいと思ひます。私たちからのメッセージもお届けしますので、どうぞご期待下さいね。